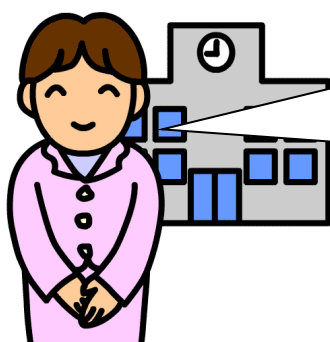


支援室だより

<http://www.okasien.okayama-c.ed.jp/okayyo.htm>

○第1回学校公開がありました

6月7日(火)に第1回の学校公開が開かれました。今回の学校公開には、総数70名(うち、施設関係者21名)の参加がありました。小学部、中学部、高等部それぞれの就学・進学をひかえた幼児児童生徒と保護者にとっては、校内の施設・設備、授業の様子などを実際に見たり、教育相談をしたりすることで、それぞれのお子様にとって、よりよい就学・進学を考える機会になったのではないかと思います。



学校公開の目的は、
肢体不自由の幼児児童生徒とその保護者および教育関係者
や福祉施設関係者に、授業や活動の様子を参観してもらい、
本校の教育活動に対する理解を深めていただくとともに、適
正な就学・進学を推進していくことにあります。

本校では、情報をしっかり収集した上で、就学・進学に向けて準備をしていただくために、早期からの教育相談を勧めています。小学校入学だけでなく、中学校、高等学校、大学の進学にあたっては、就学・進学の2年前くらいから希望の学校に相談をかけ、実際に見学し、校内の施設や周辺の状況を確認、準備を始めていくとスムーズに移行できることが多いようです。今年度から、各地域の自立支援協議会にも働きかけていきたいと考えています。

○図書紹介 《こんな本を参考に指導・授業づくりをしています。》

「アイデア&ヒント123 ～障がいの重い子のわかる できる みんなで楽しめる～」
マジカルトイボックス編

コミュニケーションについて考える時に重要な言葉AAC(補助代替コミュニケーション)があります。AACは「今ある能力を活用して最大限のコミュニケーションを引き出す技法」で手段にこだわらず、わかりやすく伝えること、コミュニケーションの確保だけでなく、その質の向上が大切であると言われています。本書ではこの考えに基づき、実践するためのさまざまな技法を紹介しています。そのまま遊びや暮らしに活用できる事例や工夫がたくさんあるので、興味のある方は、読んでみてください。



○高梁市自立支援協議会 「児童部会」

児童部会では、支援ファイル『すてっぷ』の修正に、今年度も引き続き取り組む予定です。有効に使用するため一層の周知が必要であると考えています。その方法についても併せて考えていきます。また、余暇支援や移動支援等のニーズ調査を実施します。『お父さん・お母さん・子ども交流会』は10月頃に実施し、『すてっぷ』の周知及びペアレントメンター（先輩保護者）からのアドバイスをする会にしたいと考えています。その他、支援体制図を各校園長に限らず、コーディネーター、医師会各事業所に配布を拡大する予定です。

○赤磐市障害者自立支援協議会 「そだつ部会」

赤磐市に在住の障害のある方やその家族が安心して暮らせる町づくりを目指して、みんなで連携・協働し、考えていきます。『くらす』『そだつ』『はたらく』『まちづくり』の各部会があり、本校からは主に『そだつ部会』に出席し、連携・協働しています。部長さんは「会では、現場の先生（担当者）から、障害児支援に関する実状や課題を直接伺うことができます。……情報共有、顔が見える関係作りも目的とした会になっております。是非一度足をお運びください。」とのことでした。

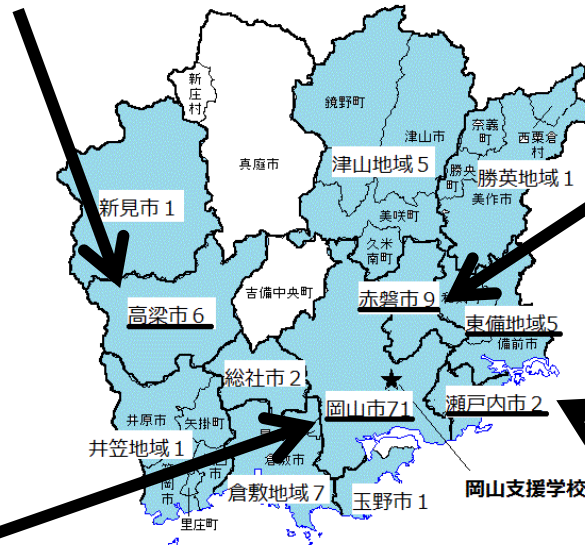


図5 岡山県の自立支援協議会と本校在籍児童生徒数

○岡山市障害者 自立支援協議会 「教育部会」

教育部会では、岡山市の福祉・教育関係機関と関係する県内の特別支援学校と進路行事や移行支援会議等で連携・調整を図ることを主な目的として取り組んでいます。

早速、夏季休業中には、

◇地区別懇談会【高2を対象】

- ・南区・・・7/25（南支援）
- ・北区・・・7/25（西支援）
- ・中区・東区・・・7/29（岡山支援）

◇福祉制度説明会【高1を対象】

- ・北区・南区・・・8/29（南支援）
- ・中区・東区・・・8/29（東支援）

を連携した形で実施予定です。また、1月下旬には高3の移行支援会議を教育部会が主体となって実施する予定です。

（この文章は赤磐市障害者自立支援協議会「そだつ部会」の部長さんからの引用です）

○瀬戸内市自立支援協議会

「こども部会」

∞（無限大）カフェ

こども部会の中の活動の1つとして、重度心身障害の子どもの会「∞（無限大）カフェ」を開催し、気軽に話をしたり、情報交換をしたりしているそうです。その中で「地域に重心の子どもの受け入れ先がない」という訴えが出され、行政に働きかけた結果、平成28年10月から瀬戸内市民病院で医療型短期入所が始まることになりました。こども部会会長さんは、「地域の子どもが地域ですっと生活できるようにしたい。」と語っておられました。